

第4回レポート(前回)

ねりま光が丘Cherry Blossom Festa 2011、この第4回目は東北大震災直後の自粛ムードの中、あらためてイベントの基本理念「ひとりの力を結集してみんなの力へ。豊かな社会づくり、人づくり」をもとに、スポーツ・音楽・ダンス・アートから生まれるパワーで人々の心を支えたい、元気にしたいの願いをもって、開催するに至りました。



イベント名	ねりま光が丘 Cherry Blossom Festa 2011
開催日時	2011年4月2日(土)10時～18時、3日(日)10時～18時
会場	東京都立光が丘公園 芝生広場・けやき広場
内容	音楽・アートとスポーツの祭典
来場者数	お花見客:約60,000人(光が丘駅乗降客数からの推定値) その内、スタッフ及び参加者、地域住民、地域進出企業、東京都民、外国人 居住者:約30,000人(スポーツステージ参加者数、音楽ダンスステージ視聴者数、 ダンス展示ステージ・コスプレ観客数、模擬店・キッチンカー売上高からの推定値)
主催	ねりま光が丘地域力活性化プロジェクト実行委員会
後援	練馬区・練馬区教育委員会 練馬区体育協会・レクリエーション協会・体育指導委員会 東京商工会議所練馬支部 東京都建設局東部公園緑地事務所 練馬区社会福祉協議会 光が丘地区住民組織連合協議会
協賛	バルシステム 不二家 エヴァ水 日本占術協会 ハンザ商事 シナリ化粧品ほか地域企業
協力	J:COM 練馬放送 ぱど 読売新聞 光が丘ウォーカー かせ 光が丘すまいる情報 光が丘警察署 光が丘消防署 練馬区観光協会 日本チアダンス協会ほか、 ねりまSSC(練馬区の総合型地域スポーツクラブ7団体)

音楽アートステージは今回、地域の音楽事務所からの出演ほか地元のミュージシャンで楽しめました。オープニングは東北震災の応援のため、ミュージシャン有志によるメッセージと地域代表の挨拶で始まりました。



スポーツステージでは恒例のキックボリングほか竹馬や輪投げ、ストラックアウトほか、お絵描き・落書きコーナーも子供から大人まで、ファミリーでも楽しめました。



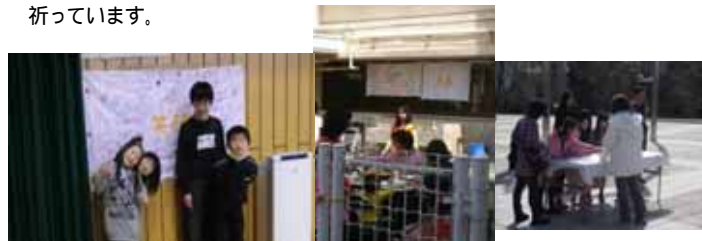
コスプレ・アニメステージはノーマライゼーションの視点から開催しました。200人以上の参加があり、寄書きも頂きました。



模擬店ステージは地元ボランティアグループ参加ほか、世界各国の料理などキッチンカーコーナーも充実、色々な食を楽しみました。



各ステージにて、東北大震災の応援のため、エール横断幕への寄書きやさくらの木に応援メッセージ、出店者のエールボードなど作成して、光が丘地区の被災者避難所に掲示、そして東北仙台の被災地へ練馬区から届けて頂きました。みんなの暖かい気持ちが復興に繋がることを祈っています。



ダンス展示ステージはチアダンス、フラダンスほかベリーダンスやフリースタイル(ボールジャグリング)、お笑いコーナーなど新しいジャンルもステージに加えてみました。また、地元の練馬放送の協力でミニFM局を開設してみました。



ハルシステム、エヴァ水、日本占術協会など協賛もいただき、地震被災者支援コーナーや占いコーナーも設置していただきました。

